

2026年3月1日(日)

日本キリスト教団 **久宝教会**

第68巻第46号(通算3483号)

教会設立 1959年6月14日

〒581-0072

大阪府八尾市久宝寺6丁目7-10

TEL 072-992-2131 FAX 072-992-2135

郵便振替: 00980-5-212130 「日本基督教団久宝教会」

【集会案内】こどもの礼拝: 毎日曜 10:00-10:20 何かお悩みがありましたらご遠慮なくご相談ください  
主日礼拝: 毎日曜 10:30-11:30 小さい子どもたちも、いつでも歓迎いたします。

# しゅうほう 週報

教会標語

小さくされている人を  
大切に<sup>たいせつ</sup>する<sup>きょうかい</sup>教会



ホームページ「久宝教会」  
(ウェブサイト)

<http://www.koinonia.or.jp/kyuhokyokai>

【連絡先(牛田)】090-9161-4027

[kyuho-church@koinonia.or.jp](mailto:kyuho-church@koinonia.or.jp)

丈夫な人に医者はいらないが、具合の悪い人には必要なのだ。実に、私が来たのは、「正統派の人」  
を招くためではなく、「道をふみはずした者」を招くためである。(マルコによる福音書2:17)

## レント (受難節) 第2主日礼拝

《礼拝はインターネットで中継配信いたします。ホームページにてどなたでも  
ご視聴いただけますので、それぞれの場所で共に礼拝をして頂きます》

前奏 (黙禱)

AVE VERUM CORPUS (©著作権消滅)

招きの詞

詩編 18編 7節

賛美歌

21-305番「イエスの担った十字架は」(1,2節) (©JASRAC)

消灯の詞

聖書

マルコによる福音書 3章 10-12, 20-35節

お祈り

賛美歌

21-194番「神さまは そのひとり子を」(©JASRAC)

メッセージ

「命の道を歩む」 牛田 匡 牧師

賛美歌

21-444番「気づかせてください」(©教団出版局)

聖餐

牛田 匡 牧師

共同のお祈りと、平和のあいさつ

賛美歌

21-524番「われらみ名により」(©著作権消滅)

主の祈り

献げ物 (\*)

派遣

21-91番「神の恵みゆたかに受け」(1節のみ) (©JASRAC)

祝福

牛田 匡 牧師

後奏

アーメン コーラス (21-40-6番) (©教団讃美歌委員会)

報告

(4頁をご参照ください)

《席にお座りになったままで礼拝にご参加ください》

\* 「献げ物 (献金)」は、受付にある献金箱にお献げください。

招きの詞 詩編 18編 7節（聖書協会共同訳©日本聖書協会）

苦悩の中から主に呼びかけ／わが神に叫びを上げると

主はその宮から私の声を聞き／叫びは御前みまえに至り、その耳に届く。

消灯ことばの詞（参照：マタイによる福音書 26章 47—56節）

弟子の一人のユダが、イエス様を裏切ったことを思いながら、このろうそくを消します。

聖書 マルコによる福音書 3章 10—12, 18—22節（聖書協会共同訳©日本聖書協会）

<sup>10</sup> イエスが多くの人を癒やされたので、病苦けがに悩む人たちが皆、イエスに触れようとして、押し寄せてきたからである。<sup>11</sup> 汚れた霊どもは、イエスを見るとひれ伏して、「あなたは神の子だ」と叫んだ。

<sup>12</sup> イエスは、自分のことを言い触らさないようにと霊どもを厳しく戒めいましられた。  
<sup>20</sup> イエスが家に帰られると、群衆がまた集まって来て、一同は食事をする暇もないほどであった。<sup>21</sup> 身内の人たちはイエスのことを聞いて、取り押さえに来た。

「気が変になっている」と <sup>a</sup> 思ったからである。<sup>22</sup> エルサレムから下って来た律法学者たちも、「あの男はベルゼブルに取りつかれている」と言い、また、「悪霊の頭の力で悪霊を追い出している」と言っていた。<sup>23</sup> そこで、イエスは彼らを呼び寄せて、たとえを用いて語られた。「どうして、サタンがサタンを追い出せよう。  
<sup>24</sup> 国が内輪で争えば、その国は立ち行かない。<sup>25</sup> また、家が内輪で争えば、その家は立ち行かない。<sup>26</sup> もしサタンが内輪もめして争えば、立ち行かず、滅びてしまう。<sup>27</sup> また、まず強い人を縛りしば上げなければ、誰も、その人の家に押し入って、家財道具を奪い取ることはできない。まず縛ってから、その家を略奪するものだ。  
<sup>28</sup> よく言っておく。人の子らが犯す罪やどんな冒瀆ぼうとくの言葉も、すべて赦ゆるされる。  
<sup>29</sup> しかし、聖霊を冒瀆する者は永遠に赦されず、永遠の罪に定められる。」<sup>30</sup> イエスがこう言われたのは、「彼は汚れた霊に取りつかれている」と人々が言っていたからである。

<sup>31</sup> イエスの母ときょうだいたちが来て外に立ち、人をやってイエスを呼ばせた。<sup>32</sup> 時に、群衆がイエスの周りに座っていた。「御覧なさい。お母様と兄弟姉妹がたが外であなたを捜しておられます」と知らされると、<sup>33</sup> イエスは、「私の母、私のきょうだいとは誰か」と答え、<sup>34</sup> 周りに座っている人々を見回して言われた。「見なさい。ここに私の母、私のきょうだいがいる。<sup>35</sup> 神の御心みこころを行う人は誰でも、私の兄弟、姉妹、また母なのだ。」

（脚注 a：別訳「人々が言っていたからである」）

## 《先週のメッセージより》2026年2月22日

### 「新しく生きる」

牛田匡牧師

聖書 マルコによる福音書 2章 18-22節

「新しいぶどう酒は、新しい革袋へ」(マルコ2:22)という言葉は、一般的に「中身が変われば、仕組みや組織も変えなければならない」といった意味で広く知られています。キリスト教の伝統的な解釈においても、古い革袋をユダヤ教、新しいぶどう酒をキリストによる福音とし、新しい教えこそが真の救いをもたらすのだと理解されてきました。しかし、歴史をたどればイエス様自身はユダヤ人として生きられたのであり、後世の視点からユダヤ教の劣位を語ったと考えるのは不自然です。当時の生活において、古い革袋に新しいぶどう酒を注ぐことは、両方を台無しにする「非常識な行動」に他なりませんでした。こうした言葉が語られた背景には、そのような無理をせざるを得ないほど困窮した人々の姿が、イエス様の目に映っていたのかもしれない。

イエス様が本当に伝えようとしたのは、形式的な教訓ではなく、「今こそが婚礼の祝宴の最中である」(2:19)という喜びの宣言でした。当時の宗教指導者たちは断食などの律法遵守を重んじましたが、イエス様は「花婿である私が共にいる今は、断食よりも共に喜び合う時だ」と説かれたのです。預言者イザヤが記した「真の断食」とは、単に食事を断つことではなく、不正の束縛を解き、虐げられた人を自由にする事、そして飢えた人とパンを分かち合うことでした(58:6-7)。イエス様はこの言葉通り、抑圧から人々を解放し、共に食事を楽しみ、祝宴の場へと招き入れる生き方を貫かれました。

現代の私たちは、しばしば「将来困らないために今を犠牲にする」という未来への脅迫の中に生きています。しかし、救いを未来に先送りするだけの言葉に解放はありません。イエス様が告げられた「福音」(良い知らせ)は、「私は今、あなたと共にいる」という「今ここ」にある救いの知らせです。たとえ生活が苦しくとも、互いに支え合い、分かち合う。その営みの中にこそ神の国は実現しているのです。「新しく生きる」ということは、いつか来る未来の話ではなく、「一呼吸、一呼吸の今」を大切に生きることから始まります。自分一人の力では難しくても、常に共におられるイエス様に信頼し、イエス様から力を与えられて互いを大切にしながら、今年もこのレント(受難節)の歩みを進めてまいります。

毎週の「メッセージより」は、ウェブサイト等にも順次掲載されています。

ホームページ



Facebook



YouTube



◎ 先週の報告 2026年2月22日

礼拝出席 大人4人 献金 大人4,200円 中継視聴者数25回 感謝

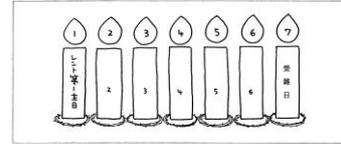
◎次週 2026年3月8日(日) 受難節第3主日礼拝  
 教会での礼拝は休会(教会堂は閉室)です。メッセージのみを8日(日)10時半から、YouTubeで配信いたします。

招きの詞 テモテへの手紙II 1章 9-10a節

聖書 マルコによる福音書 8章27-33節

メッセージ「あなたもキリストの一人」牛田匡牧師

今年のレント(受難節・四旬節)は、2月18日(水)から4月4日(土)です。レントの期間は、イエス様の生涯や十字架の意味、イエス様に従うとはどういうことかについて考える時です。



◎お知らせ

- ・本日、礼拝後に3月期の「教会を考える会」を行います。
- ・これまでの「週報」や「メッセージ(全文)」はホームページに掲載しています。また中継録画のメッセージ部分をYouTubeでご覧いただくことも可能です。
- ・3月7日(土)14時~16時にかけて、北海道クリスチャンセンターにて、北海教区平和部門委員会主催の講演会「キリスト者として原発を考えよう!」が開催されます。北海道での開催ですが、ZOOMによるオンライン参加も可能です。<https://tinyurl.com/msxfufxk> にアクセス頂くか、直接ZOOMに、ミーティングID 830 9862 5915 と、パスコード 282 689 を入力して、ご参加ください。参加無料で申込不要です。どなたでもご参加ください。
- ・3月7日(土)13時~15時にかけて大阪クリスチャンセンターにて、大阪教区「被災地を憶える集会」が開催されます。東日本大震災と各地の災害被災地を憶える礼拝と、災害学習会があります。参加無料で申込不要です。どなたでもご参加ください。
- ・3月8日(日)15時~17時にかけて、大阪福島教会にて、大阪教区「心なごむ会」主催の公開講演会「安心の源 ~不安と孤独を越えさせるもの~」が開催されます。参加費は300円です。事前申込不要です。どなたでもご参加ください。

◎ 次週以降の行事予定

	メッセージ	行事
3/8		教会堂での礼拝は休会です(YouTube配信のみ行います)
3/15	牛田匡牧師	
3/22	牛田匡牧師	おにぎり支援
3/29	牛田匡牧師	(受難週)誕生者祝福式

**キリスト者として原発を考えよう!**

昨年12月、結核・結核菌3種類の再感染に罹患しましたが、治療期間中の活動性の存在や、海産物摂取、防災対策等々、私たちの不安は募るばかりです。そして何よりも原発は、私たち人間の手に負えない放射能汚染物を大量に作り出し、排水を流して海を汚染し、遠く男婦老の健康を害し、チェルノブイリや福島のように、ひとたび事故が起これば、あらゆる命の危険にさらされてしまいます。原発の再稼働をさせない為に声を上げていきましょう。キリスト者である一しに繋がって、多くの皆々の命をお守りしていきます。

**講演会 「危険でも、実は高くても 進めたい原発の理由」**  
 一知事も同意しても、決して私たちは同意しない—  
**2026.3.7(土) 14:00~16:00**  
 北海道クリスチャンセンター2Fホール  
 (札幌市北区北7条西6丁目)

講師 牛田 匡 先生

URL <https://tinyurl.com/msxfufxk>  
 ミーティングID 830 9862 5915  
 パスコード 282689

**大阪教区心なごむ会公開講演会2025**

**安心の源**  
 ~不安と孤独を越えさせるもの~

変化が激しく先の見通しのない世の中、不安を抱え孤独を感じながら私たちは日々を送っています。けれども私たちの中には、不安と孤独を乗り越えるための資源が備わっており、それを有効に活用し希望の光を照らすことができます。私たちの安心の源はどこにあるのか、一緒に考えてみましょう。(石丸昌彦先生のメッセージ)

講師 **石丸昌彦氏**

1957年生。愛知県出身。東京大学法学部、東京医科大学(現・東京科学大学) 医、精神科医。北行短期大学講師、短大非常勤講師、日本キリスト教団大阪教区協議会、日本キリスト教団大阪教区協議会、京都府「不安と孤独の克服」委員、愛知(北)キリスト教団「精神科医とキリスト教」研究会の代表理事として活躍。「安心の源」著者。

日時: 2026年3月8日(日)午後3時~5時  
 場所: 日本基督教団 大阪福島教会 〒530-0026 大阪府福島区福島5-19-16

参加費 300円  
 ご来場には、公共交通機関をご利用ください。

問い合わせ先  
 大阪教区事務局  
 電話 06-4761-5562  
 部長 井上 洋子  
 電話 06-2015-3857  
 部長 井上 洋子  
 電話 06-2829-2553